

令和6年度版 セカンドスクールの 利用の手引き



《 巻末資料 》
“「問い」を発する子ども”の育成に資する
「少年自然の家等体験活動プログラム・展開例」

秋田県教育委員会

- 目次 -

- ◆ セカンドスクールの利用について P 1
- ◆ セカンドスクールの利用が可能な施設一覧（分野別） P 2
- ◆ セカンドスクールの利用が可能な施設一覧（市町村別） P 3
- ◆ 県の教育施設（宿泊拠点となる施設：5施設） P 4
 （文化・芸術に関する施設：8施設） P 7
- ◆ 協力施設 産業に関する施設（10施設） P 11
 運輸・エネルギーに関する施設（4施設） P 13
 くらし・安全安心に関する施設（6施設） P 14
 文化・自然・環境に関する施設（8施設） P 15
 スポーツ・野外活動に関する施設（11施設） P 17
- ◆ 巻末資料「少年自然の家等体験活動プログラム・展開例」 P 20

【この手引きの使い方】

子どもたちにとって、自然の中での集団宿泊体験や職業体験、芸術文化体験といった体験活動は、自然や社会、他者との関わりという点で極めて重要です。

この手引きには、県の教育施設で行うことのできる主な学習プログラムと、学習指導要領との関係についても掲載しています。各学校や園で、学習プログラムを教育課程にどう位置付けるか検討する際に、参考にさせていただけると幸いです。

また、国・県・民間の協力施設の一覧を掲載していますので、各施設の専門性を生かした、多様な学習を行うための手引きとしても御活用いただけます。

さらに、「ニューノーマルに対応した体験活動構築事業」の一環として作成している、少年自然の家・あきた白神体験センターの「少年自然の家等体験活動プログラム・展開例」も掲載していますので、計画作成の参考として御活用ください。

★施設データの見方

施設WebサイトのURLをクリックすると、各ホームページにリンクします。

各教育施設の学習プログラムのうち、利用頻度が高いものや、おすすめのプログラムについて、学習指導要領をもとに各教科等との関係性を掲載しています。教育施設で行う学習プログラムを、教科等の授業時数として位置付ける際の参考にしてください。
 ※ あくまでも例であり、これ以外にも様々な形で授業に位置付けることが可能です。各施設にお気軽にご相談ください。
 ※ 協力施設には、この欄の記載はありません。

No.	施設情報		利用情報		
			学習プログラム名	学年	教科等との関係
11	施設名	秋田県立農業科学館	果樹の観察・収穫	幼・保	収穫体験
	所在地	〒014-0073 大仙市内小友字中沢171-4	ウォークラリー	小1以上	生活・総合
	電話/FAX	0187-68-2300/0187-68-2351	昔の稲作 (昭和30～40年代)	小5以上	社会・総合(わたしたちの食生活と米)
	WebサイトURL	https://www.obako.or.jp/sun-agrin/	新しい農業の姿	小5以上	社会・総合(わたしたちの食生活と米)
	周辺の連携可能施設	・県立大曲農業高等学校 ・県埋蔵文化財センター	あきたこまちへの道	小5以上	社会・総合(わたしたちの食生活と米)
	利用料金	無料(プログラムによっては、材料費を負担していただく場合があります)	・自然観察 ・熱帯の植物 ・昔の農家のくらし(曲家見学) ・昔の道具(生活用品) ・押し花でしおり作り ・木の実で工作		
	窓口担当	学芸チーム	〈事前問合せ〉 ・天候その他の理由により、内容変更の場合あり 〈休館日〉 ・毎週月曜日(休日に当たる場合はその翌日)、年末年始 〈ICT対応〉 ・タブレット持込による館内撮影に制限なし ・館内及び敷地内のWi-Fi利用可能		

連携して学習を行うことができる周辺の施設を掲載しています。

「主な学習プログラムと教科等との関係」欄に記載したもの以外で、学校向けの学習プログラムの例を記載しています。

休館日等の情報です。

重要

この手引きに掲載している施設情報やプログラムは、令和6年3月に調査した内容をもとにしており、年度の途中で変更がある場合もあります。
 実際の利用に当たっては、各施設にお問い合わせいただき、最新情報の確認をお願いします。

セカンドスクールの利用について

教育施設等のセカンドスクールの利用とは

- 教育施設等の人的・物的機能を十分に活用しながら、学校と教育施設等が連携して、各教科等の内容に関わる体験を伴う学習や郷土の自然や文化に触れる体験、共同生活体験等を複合的に実施することで、各教科等の授業時数を確保しつつ、体験活動の充実につなげる取組を推進します。
- 県教育委員会では、平成11年度から、県立の教育施設を中心に、国・県・民間の施設の協力も得ながらセカンドスクールの利用を推進しています。

セカンドスクールの利用の特徴

専門職員と教員との連携により、効果的で深まりのある学習活動を実施

教育施設には、社会教育主事や学芸主事など、教員と連携して指導業務を行う専門職員がおり、学習指導要領に対応した学習プログラムや、適切な資料・教材等の提供により、効果的で深まりのある学習活動を展開します。

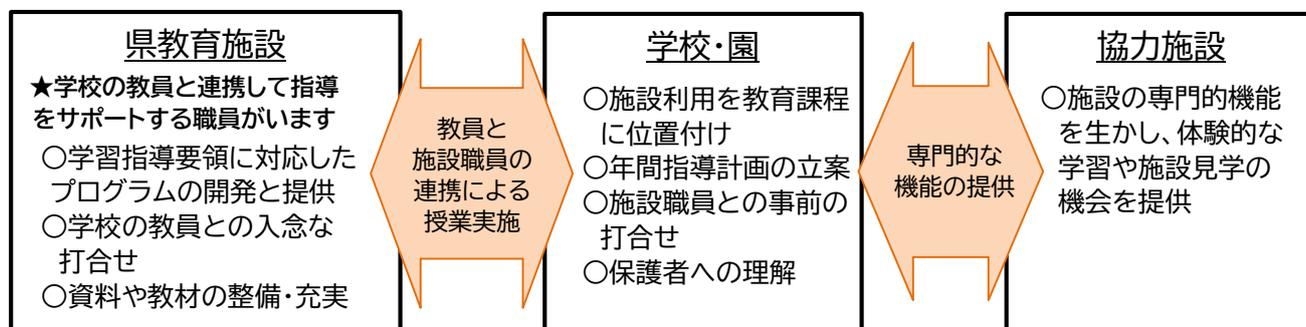
また、専門的な機能を有する協力施設からも協力をいただき、特色ある学習機会を提供します。

校種や発達段階に対応した、多様な体験活動プログラムを用意

教育施設では、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校のほか、幼稚園・保育所・認定こども園等も対象に、多様なニーズに対応した体験活動プログラムを用意しています。

各教科等の授業時数としてカウントし、より多くの体験活動機会を提供

授業時数を確保しつつ、各教科等の特質に応じた体験的な学習活動を複合的に実施できることから、より多くの体験活動の機会を提供できます。



セカンドスクールの利用により期待される効果

1 活動を通じた豊かな人間性の育成

体験的な学習活動を通じて、郷土の自然や文化を愛する心、自律性、協調性、創造性、思いやりの心など、豊かな人間性が育まれます。

2 興味・関心の高まりや学習意欲の喚起

教育施設等の豊かな自然環境、充実した設備・展示、専門職員による指導・支援等により、児童生徒の学習への興味・関心が高まります。

3 学習成果の深化・拡充・統合

教育施設等の特性や機能を生かし、単元目標やねらいに応じた学習プログラムが提供されることにより、学習への理解が深まります。

4 社会に開かれた教育課程の実現や教職員の資質向上

生きた教材による授業実践や、学校外での触れ合い・交流等により、社会に開かれた教育課程の実現や教職員の資質向上につながります。

セカンドスクールの利用が可能な施設一覧（分野別）

◆ 県教育施設(13施設)

宿泊拠点となる施設(5施設)

No.	施設名	所在地	頁
1	秋田県立大館少年自然の家	大館市	4
2	秋田県立保呂羽山少年自然の家	横手市	4
3	秋田県立岩城少年自然の家	由利本荘市	5
4	秋田県青少年交流センター(ユースパル)	秋田市	5
5	秋田県自然体験活動センター(あきた白神体験センター)	八峰町	6

県教育委員会が設置している教育施設であり、社会教育主事や学芸主事など、学校の教員と連携して指導業務を行う職員がいる施設です。

文化・芸術に関する施設(8施設)

No.	施設名	所在地	頁
6	秋田県立図書館	秋田市	7
7	あきた文学資料館	秋田市	7
8	秋田県生涯学習センター	秋田市	7
9	秋田県立美術館	秋田市	8
10	秋田県立近代美術館	横手市	8
11	秋田県立博物館	秋田市	9
12	秋田県立農業科学館	大仙市	9
13	秋田県埋蔵文化財センター	大仙市	10

◆ 協力施設(39施設)

産業に関する施設(10施設)

No.	施設名	所在地	頁
14	秋田大学大学院国際資源学研究科附属 鉱業博物館	秋田市	11
15	秋田県総合食品研究センター	秋田市	11
16	秋田県立大学 木材高度加工研究所	能代市	11
17	秋田県水産振興センター	男鹿市	11
18	秋田県農業試験場	秋田市	11
19	秋田県畜産試験場	大仙市	12
20	秋田県果樹試験場	横手市	12
21	かづの果樹センター	鹿角市	12
22	秋田県果樹試験場 天王分場	潟上市	12
23	秋田県森林学習交流館(プラザクリプトン)	秋田市	12

国・県・民間の施設で、専門的な機能を持ち、児童生徒に多様な学習の機会や場を提供している施設です。

文化・自然・環境に関する施設(8施設)

No.	施設名	所在地	頁
34	秋田ふるさと村	横手市	15
35	環境省 白神山世界遺産センター 藤里館	藤里町	16
36	秋田県環境と文化のむら	五城目町	16
37	米代川流域下水道 大館処理センター	大館市	16
38	米代川流域下水道 鹿角処理センター	鹿角市	16
39	秋田湾・雄物川流域下水道 秋田臨海処理センター	秋田市	17
40	秋田湾・雄物川流域下水道 大曲処理センター	大仙市	17
41	秋田湾・雄物川流域下水道 横手処理センター	横手市	17

運輸・エネルギーに関する施設(4施設)

No.	施設名	所在地	頁
24	東北電力株式会社 能代エナジウムパーク	能代市	13
25	国土交通省東北地方整備局 玉川ダム管理所	仙北市	13
26	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 能代ロケット実験場	能代市	13
27	秋田空港管理事務所	秋田市	13

スポーツ・野外活動に関する施設(11施設)

No.	施設名	所在地	頁
42	秋田県立田沢湖スポーツセンター	仙北市	17
43	秋田県スポーツ科学センター	秋田市	18
44	秋田県立体育館	秋田市	18
45	秋田県立総合プール	秋田市	18
46	秋田県立スケート場	秋田市	18
47	秋田県立武道館	秋田市	18
48	ニプロハチ公ドーム	大館市	19
49	秋田県立中央公園	秋田市	19
50	秋田県立北欧の杜公園	北秋田市	19
51	秋田県立小泉瀉公園	秋田市	19
52	奥森吉青少年野外活動基地	北秋田市	19

くらし・安全安心に関する施設(6施設)

No.	施設名	所在地	頁
28	秋田魁新報社/さきがけ印刷センター	秋田市	14
29	気象庁 秋田地方気象台	秋田市	14
30	あきた就職活動支援センター	秋田市	14
31	秋田県防災学習館	由利本荘市	14
32	秋田県警察本部	秋田市	15
33	海上保安庁 秋田海上保安部	秋田市	15

セカンドスクールの利用が可能な施設一覧（市町村別）

◆ 県北地区(12施設)

★鹿角市

市町村	No.	施設名	頁
鹿角市	21	かづの果樹センター	12
鹿角市	38	米代川流域下水道 鹿角処理センター	16

★大館市・北秋田市

市町村	No.	施設名	頁
大館市	1	秋田県立大館少年自然の家	4
大館市	37	米代川流域下水道 大館処理センター	16
大館市	48	ニプロハチ公ドーム	19
北秋田市	50	秋田県立北欧の杜公園	19
北秋田市	52	奥森吉青少年野外活動基地	19

★能代市・八峰町・藤里町

市町村	No.	施設名	頁
能代市	16	秋田県立大学 木材高度加工研究所	11
能代市	24	東北電力株式会社 能代エナジウムパーク	13
能代市	26	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 能代ロケット実験場	13
八峰町	5	秋田県自然体験活動センター(あきた白神体験センター)	6
藤里町	35	環境省 白神山地世界遺産センター 藤里館	16

◆ 中央地区(29施設)

★秋田市

市町村	No.	施設名	頁
秋田市	4	秋田県青少年交流センター(ユースパル)	5
秋田市	6	秋田県立図書館	7
秋田市	7	あきた文学資料館	7
秋田市	8	秋田県生涯学習センター	7
秋田市	9	秋田県立美術館	8
秋田市	11	秋田県立博物館	9
秋田市	14	秋田大学大学院国際資源学研究所附属 鉱業博物館	11
秋田市	15	秋田県総合食品研究センター	11
秋田市	18	秋田県農業試験場	11
秋田市	23	秋田県森林学習交流館(プラザクリプトン)	12
秋田市	27	秋田空港管理事務所	13
秋田市	28	秋田魁新報社/さきがけ印刷センター	14
秋田市	29	気象庁 秋田地方気象台	14
秋田市	30	あきた就職活動支援センター	14
秋田市	32	秋田県警察本部	15
秋田市	33	海上保安庁 秋田海上保安部	15
秋田市	39	秋田湾・雄物川流域下水道 秋田臨海処理センター	17
秋田市	43	秋田県スポーツ科学センター	18
秋田市	44	秋田県立体育館	18
秋田市	45	秋田県立総合プール	18
秋田市	46	秋田県立スケート場	18
秋田市	47	秋田県立武道館	18
秋田市	49	秋田県立中央公園	19
秋田市	51	秋田県立小泉潟公園	19

★男鹿市・潟上市・五城目町

市町村	No.	施設名	頁
男鹿市	17	秋田県水産振興センター	11
潟上市	22	秋田県果樹試験場 天王分場	12
五城目町	36	秋田県環境と文化のむら	16

★由利本荘市

市町村	No.	施設名	頁
由利本荘市	3	秋田県立岩城少年自然の家	5
由利本荘市	31	秋田県防災学習館	14

◆ 県南地区(11施設)

★大仙市・仙北市

市町村	No.	施設名	頁
大仙市	12	秋田県立農業科学館	9
大仙市	13	秋田県埋蔵文化財センター	10
大仙市	19	秋田県畜産試験場	12
大仙市	40	秋田湾・雄物川流域下水道 大曲処理センター	17
仙北市	25	国土交通省東北地方整備局 玉川ダム管理所	13
仙北市	42	秋田県立田沢湖スポーツセンター	17

★横手市

市町村	No.	施設名	頁
横手市	2	秋田県立保呂羽山少年自然の家	4
横手市	10	秋田県立近代美術館	8
横手市	20	秋田県果樹試験場	12
横手市	34	秋田ふるさと村	15
横手市	41	秋田湾・雄物川流域下水道 横手処理センター	17

県の教育施設(宿泊拠点となる施設:5施設) No.1~5

No.	施設情報		利用情報				
			学習プログラム名	学年	教科等との関係		
1	施設名	秋田県立 大館少年自然の家	森のレストラン ※巻末資料P20に掲載	小1・2 (小学校 低学年、 幼児向け)	生活(季節の変化と生活、 自然やものを使った遊び) 図工(表現)		
	所在地	〒017-0023 大館市東字岩神沢31		主な学習 プログラムと 教科等 との関係	小4	理科(季節と生物)	
					小5	社会(我が国の国土の自然 環境と国民生活との関連)	
					小3~6	国語(書くこと)	
	電話/FAX	0186-43-3174/0186-43-3175	天体観察	小4	理科(月と星)		
	WebサイトURL	https://www.pref.akita.lg.jp/oodate-sizen/		小6	理科(月と太陽)		
	周辺の 連携可能施設	・大館郷土博物館 ・秋田犬の里 ・長走風穴館 ・ニプロハチ公ドーム	その他の 主な学習 プログラム	・プロジェクトアドベンチャー(PA) ・野外炊事 ・川遊び ・登山 ・ハイキング ・ウォークラリー ・ナンバーウォーク ・火おこし体験 ・トーチ棒づくり ・テント設営 ・各種創作活動 ・キャンプファイヤー ・キャンドルファイヤー ・ポリ袋調理体験 ・紙食器、紙スリッパづくり ・森のビンゴ ・どうぶつなかよしたんけんたい			
	利用料金	無料 ※創作活動等は材料費が必要	その他	<休所日> 毎週月曜日 <冬季閉所期間> 令和6年11月1日~令和7年2月28日			
窓口担当	指導チーム						
2	施設名	秋田県立 保呂羽山少年自然の家	化石掘り ※巻末資料P24に掲載	小6	理科(土地のつくりと変化)		
	所在地	〒013-0561 横手市大森町八沢木字大木屋73		主な学習 プログラムと 教科等 との関係	自然素材工作 ※巻末資料P26に掲載	全学年	生活(季節の変化と生活、 自然やものを使った遊び) 図工(表現)
					火おこし	小6	理科(燃焼の仕組み) 社会(我が国の歴史上の主 な事象)
					陶芸	小5・6	図工(表現)
	電話/FAX	0182-26-6011/0182-26-6012	防災プログラム	小5	社会(我が国の国土の自然 環境と国民生活との関連)		
	WebサイトURL	https://www.pref.akita.lg.jp/horowa-sizen/		・プロジェクトアドベンチャー(PA) ・保呂羽山登山 ・ハイキング(追跡ハイキング) ・カヌー体験 ・火おこし体験 ・ナイトハイク ・キャンプファイヤー ・どんぐりひろい(自然素材収集) ・防災学習(テント泊、野外炊飯、火おこし、用具貸し出し等) ・竹細工(竹とんぼ、竹笛、竹はし)・エイ風づくり			
	周辺の 連携可能施設	・県立岩城少年自然の家 ・県立近代美術館 ・県立農業科学館 ・県埋蔵文化財センター ・南部シルバーエリア ・大森病院 ・仁真園	その他の 主な学習 プログラム				
	利用料金	無料 ※創作活動等は材料費が必要	その他	<休所日> 毎週月曜日 <冬季閉所期間> 令和6年11月1日~令和7年2月28日			
窓口担当	指導チーム						

わんパーク大館で注目集まる 防災教育関連活動 (大館少年自然の家)

大館少年自然の家では、年々防災教育プログラムの出前講座の要請が増えており、昨年度も様々な団体の利用がありました。

特に人気のあるプログラムは、ソロテントを使ったテント設営、ポリ袋調理、紙食器作りです。他にも、ロープワーク講習や毛布担架体験等、いざという時に役立つ内容を取り扱っています。ぜひご利用ください。



No.	施設情報		利用情報			
			学習プログラム名	学年	教科等との関係	
3	施設名	秋田県立 岩城少年自然の家	主な学習 プログラムと 教科等 との関係	植物ネイチャービンゴ ※巻末資料P28に掲載	小3 小4 小5	理科(身の回りの生物) 理科(季節と生物) 理科(植物の発芽、成長、 結実)
	所在地	〒018-1215 由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢260-8		防災スキル ※巻末資料P30に掲載	小4 小5	社会(自然災害から人々を 守る活動) 社会(我が国の国土の自然 生活と国民生活との関連)
	電話/FAX	0184-74-2011/0184-74-2012		自然物工作	全学年 小1・2	図工(表現) 生活(季節の変化と生活、 自然やものを使った遊び)
	WebサイトURL	https://www.pref.akita.lg.jp/iwaki-sizen/		火おこし体験	小4 小6	理科(燃焼の仕組み) 社会(我が国の歴史上の主 な事象)
	周辺の 連携可能施設	・県立博物館・県立図書館 ・県児童会館・県防災学習館 ・TDK歴史みらい館 ・フェアイト子ども科学館 ・秋田魁新報社・各テレビ局		プロジェクトアドベン チャー (PA)	全学年	特別活動(学級活動) 道徳(主として人との関わり に関する事象) など)
	利用料金	無料 ※創作活動等は材料費が必要		ザリガニ釣り	小1・2 全学年	生活(季節の変化と生活) 道徳(主として生命や自然、 崇高なものとの関わり に関する事象)
	窓口担当	指導チーム		その他の 主な学習 プログラム		・ポイントラリー ・ウォークラリー ・野外炊飯 ・バードウォッチング ・テント泊 ・キャンプファイヤー ・かがり火ファイヤー ・ナイトハイク ・うす板工作 ・まゆ玉工作 ・プラ板工作 ・焼き板工作 ・七宝焼き
	その他			その他	<休所日> 毎週月曜日・年末年始	
4	施設名	秋田県青少年交流センター (ユースパル)	主な学習 プログラムと 教科等 との関係	職場見学、施設提供	幼・保	
	所在地	〒010-0905 秋田市寺内神屋敷3-1		宿泊研修、仲間づくり活動	小学校	総合
	電話/FAX	018-880-2303/018-847-6350		職場体験、宿泊研修、 仲間づくり活動	中1・2	総合
	WebサイトURL	https://youthpal-akita.com	その他の 主な学習 プログラム	・仲間づくり活動 (PA系ゲーム・ニューススポーツ・CHR研修) ・職場体験(市内協力企業を紹介) ・インターンシップ ・宿泊研修		
	周辺の 連携可能施設	・秋田市内の各教育施設		その他	<休館日> ・12月29日～1月3日 ・11月以降、工事による休館の予定がありますので、ご利用を 検討されている場合はお問い合わせください。 <要予約> ・宿泊を伴うセカンドスクールの利用の場合、マイクロバス(定員 28人)での学校～ユースパル間の送迎可(県内のみ)	
	利用料金	研修室等の利用は無料				
	窓口担当	研修担当				

森林浴をしながら、季節の山野草の世界に浸ろう！ (岩城少年自然の家)

岩城少年自然の家周辺の野山では、豊富で色とりどりの野草を見つけることができます。「植物ネイチャービンゴ」に挑戦してみませんか。緑が多い森の中では、色づく花が一際美しく目に届いてきますよ！

植物のつくりや生息場所の学習や草花への興味付けなどにもってこいです。たっぷり歩き、時間を忘れた頃には、もう野草の虜になっているのではないのでしょうか…。

(詳しくは巻末資料P28もご覧ください)



No.	施設情報		利用情報		
			学習プログラム名	学年	教科等との関係
5	施設名	秋田県自然体験活動センター (あきた白神体験センター)	ピザづくり ※巻末資料P32に掲載	小5 小6	家庭科(衣食住の生活)
	所在地	〒018-2617 山本郡八峰町八森字御所の台53-1	小枝のボールペン ※巻末資料P34に掲載	小学生 中学生	図工(表現) 美術(表現)
	電話/FAX	0185-77-4455/0185-77-4456	ジオパークツアー	小5	理科(流れる水の働きと土地の変化)
	WebサイトURL	https://www.town.happo.lg.jp/shirakami-taiken		小6	理科(土地のつくりと変化)
	周辺の連携可能施設	・ハタハタ館 ・夕映えの館 ・おらほの館 ・森林科学館(ぶなっこランド) ・八峰白神ジオパーク ・御所の台オートキャンプ場	シーカヤック	小4～ 小6	体育(運動領域、保健領域)
	利用料金	・宿泊利用時は、研修室等の使用料無料 (他団体による予約のあるときは研修室等を使用できないことがあります) ・日帰り利用時は、研修室550円/1時間 多目的ホール1,100円/1時間 ・体験活動は小学生以上300円から (体験内容により、材料費や講師料が別途必要な場合があります)		中1～ 中3	保健体育(体育分野、保健分野)
	窓口担当	研修企画担当	ブナの天然林散策(留山散策)	小5 中3	理科(植物の発芽、成長、結実) 理科(生物と環境)
		【山の体験活動】 ・十二湖散策 ・里山トレッキング ・三十釜渓谷散策 【海の体験活動】 ・磯遊び ・海水浴 ・磯釣り 【食づくり体験】 ・白神こだま酵母のパン ・豆腐づくり ・そば打ち体験 ・郷土料理づくり体験 【その他の体験活動】 ・ニュースポーツ ・創作活動(貝殻ストラップ 等) ・災害時に役立つ道具づくり			
		【その他の体験活動】 ・白神山地二ツ森ルートは通行不可 ・十二湖散策コースはルート制限あり ・館内無料Wi-Fi有 ・班名簿、または活動のしおりを御提出ください。 <休所日> 12月29日～1月3日			



自然材料でつくる創作体験いろいろ (あきた白神体験センター)

海や山の自然体験は天候条件に左右されがち。荒天時の活動メニューとして児童生徒に好評なのが、森の小枝で作るバードコールや小枝ペンの創作活動です。まずは、材料選びにゆっくり時間をかけましょう。樹皮の色、触り心地、重さや硬さの違いに気が付きます。山椒の小枝は良い香り。山桜は艶があつてきれいです。節や曲がりのある小枝は味わいがあつて個性的です。(詳しくは巻末資料P34もご覧ください)

各施設の最新情報をチェック！SNSもご覧ください！（その1）



大館少年自然の家Facebook



保呂羽山少年自然の家Facebook



岩城少年自然の家Facebook



あきた白神体験センターブログ

県の教育施設(文化・芸術に関する施設:8施設) No.6~13

No.	施設情報		利用情報				
			学習プログラム名	学年	教科等との関係		
6	施設名	秋田県立図書館	主な学習プログラムと教科等との関係	図書館を知る	小1・2	国語(としょかんとなかよし・図書館たんけん)生活科(まちたんけん)	
	所在地	〒010-0952 秋田市山王新町14-31		図書館の使い方を知る	小3・4	国語(図書館たんていだん・図書館の達人になろう)	
	電話/FAX	018-866-8400/018-866-6200		図書館の役割を知る	小5・6	国語(図書館を使いこなそう・地域の施設を活用しよう)	
	WebサイトURL	https://www.apl.pref.akita.jp/		図書館の役割と活用方法を知る	中学生	総合的な学習の時間(職場体験活動)	
	周辺の連携可能施設	・県生涯学習センター ・県児童会館	その他の主な学習プログラム	図書館の役割と活用方法を知る	高校生	総合的な探究の時間(インターンシップ)	
	利用料金	無料		・職場見学(施設見学等) ・職場研究(職員へのインタビュー等) ・職場体験、インターンシップ (施設見学、カウンター業務体験、図書館支援業務体験、資料整理業務体験、子ども読書支援センター業務体験等)			
	窓口担当	セカンドスクール担当	その他	<休館日> ・毎週水曜日 ・特別整理期間(1月16日~28日) ・年末年始(12月28日~1月3日) * 休館日は変更になる場合があります。			
	7	施設名	あきた文学資料館	主な学習プログラムと教科等との関係	秋田の文学に親しむ	小・中・高	国語・総合的な学習の時間
所在地		〒010-0001 秋田市中通六丁目6-10	郷土の作家を知る		小・中・高	国語・総合的な学習の時間	
電話/FAX		018-884-7760/018-884-7761	その他の主な学習プログラム	・職場見学(施設見学等) ・職場研究(職員へのインタビュー等) ・職場体験、インターンシップ ・館内ツアー(展示解説、閉架資料閲覧等) ・出前授業・講座			
WebサイトURL		https://www.apl.pref.akita.jp/literature-center		その他	<休館日> ・月曜日 ・特別整理期間(5月4日~5日、8月13日~14日) ・年末年始(12月28日~1月3日)		
周辺の連携可能施設		・県立美術館 ・秋田市文化創造館 ・市立中央図書館明德館					
利用料金		無料					
窓口担当	セカンドスクール担当						
8	施設名	秋田県生涯学習センター	主な学習プログラムと教科等との関係	障害者スポーツを体験しよう! 【ボッチャ・卓球バレー・パドミントン】	小学生	総合的な学習の時間、道徳、体育、特別活動	
	所在地	〒010-0955 秋田市山王中島町1-1			中学生		
	電話/FAX	018-865-1171/018-824-1799	高校生		総合的な探究の時間、保健体育、特別活動、福祉		
	WebサイトURL	https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/	その他の主な学習プログラム	・アウトドアと防災 (アウトドアグッズコーナーの見学、簡易テントの設置体験等)			
	周辺の連携可能施設	・県立図書館 ・県児童会館 ・県立体育館		その他	<休館日> ・毎週月曜日(休日に重なった場合は次の平日) ・年末年始		
	利用料金	無料					
窓口担当	学習事業チーム 障害者スポーツスペース担当						



No.	施設情報		利用情報			
			学習プログラム名	学年	教科等との関係	
9	施設名	秋田県立美術館	主な学習プログラムと教科等との関係	藤田嗣治の作品等を、学芸員の解説を聞きながら鑑賞する	全校種	図工・美術(鑑賞)
	所在地	〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2		「秋田の行事」に描かれた秋田の祭りや暮らしを学ぶ	全校種	社会・総合(ふるさと教育)
				美術館の仕事を体験しよう	小5～高3	総合(職場体験学習)
				秋田県立美術館のワークシートを活用	小学生 中学生	図工・美術(鑑賞)
	電話/FAX	電話 018-853-8686 018-833-5809 FAX 018-836-0877		学芸員になって作品解説	小5～中3	図工・美術(鑑賞)
	WebサイトURL	(美術館HP) https://www.akita-museum-of-art.jp/ (指定管理者HP) http://www.pic-hiranofound.jp	その他の主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展・企画展の鑑賞活動 ・作品スケッチ ・ディスクリプション(絵画作品をこぼで表現) ・出前授業 ・「秋田の行事」のレプリカを活用 ・建物案内 		
	周辺の連携可能施設	<ul style="list-style-type: none"> ・県立博物館 ・あきた文学資料館 ・秋田市立千秋美術館 		その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈休館日〉 ・不定休(メンテナンスや展示替えの臨時休館日有り) 〈事前問合せ〉 ・スクールバスなどの駐車が必要な場合は、申し込み時に併せてお問合せください。 	
利用料金	無料					
窓口担当	セカンドスクール担当					
10	施設名	秋田県立近代美術館	主な学習プログラムと教科等との関係	展覧会の見どころ	全校種	図工・美術(鑑賞)
	所在地	〒013-0064 横手市赤坂字富ヶ沢62-46		彫刻探検	小学生	図工・美術(鑑賞)
				版画を楽しもう	小学生	図工・美術(表現)
				墨と顔彩で描こう	小3～	図工・美術(表現)
	電話/FAX	0182-33-8855/0182-33-8858		ふるさと秋田の作家や作品について調べよう	小5～	【特活・総合】
	WebサイトURL	http://akita-kinbi.jp	その他の主な学習プログラム	【鑑賞】 「キンビ・アートカード」楽しみながら作品や鑑賞への関心を高めます。(全校種、教育機関) 【表現】 上記の他「大画面に描こう」(幼・保～小2、特別支援学校)など、各学年に対応した表現メニューをご用意しています。 【中学校職業体験】・【高等学校インターンシップ】 受付業務やセカンドスクールの利用の補助など、美術館の仕事を体験できます。		
	周辺の連携可能施設	・秋田ふるさと村		その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈休館日〉 ・年末年始休館(12月30日～令和7年1月1日) ・メンテナンス休館(令和7年1月22日～31日) 	
利用料金	無料					
窓口担当	学芸チーム セカンドスクール担当					



「メタバース×キンビ」を体験しよう！（近代美術館）

最新のデジタル技術で構築されたもう一つの近代美術館「メタバース×キンビ」を、令和6年4月中旬から一般公開しています。

利用者はアバターで入場・活動し、デジタル空間で高精細に再現された近代美術館のコレクションを、いつでもどこでも鑑賞可能です。パソコンがあれば利用できますが、VR機器があればさらに没入感を味わうことができます。

県生涯学習課では、「あきた県庁出前講座」の講座メニューとして「メタバース×キンビ」の紹介・体験を実施します。

ご相談・お申込みは県生涯学習課まで(電話:018-860-5183)

本物の作品を、展示室の雰囲気と一緒に楽しみください！（近代美術館）

秋田ゆかりの收藏品をはじめ、他所からお借りしてくる貴重な名品をぜひ間近でご覧ください。画面や写真ではわかりにくい、実物だからこそ伝わってくる色々な魅力にあふれています。作品の大きさ、絵の具の盛り上がり、材料の質感などなど。

また、展覧会を担当した学芸員の工夫に注目してみてもおもしろいですよ。作品の順番や位置、展示台の高さ、照明のあて方など、それぞれに意味があります。



No.	施設情報		利用情報			
			学習プログラム名	学年	教科等との関係	
11	施設名	秋田県立博物館	主な学習プログラムと教科等との関係	旧奈良家住宅で昔の暮らしをさぐってみよう	小3	社会(古い道具と昔の暮らし)
	所在地	〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山52		秋田の農業の父石川理紀之助	小3～高	社会(地域の人々の生活の向上に尽くした先人)、農業
	電話/FAX	018-873-4121/018-873-4123		本物の骨格標本で動物の体のつくりを学ぼう	小4	理科(動物の体のつくり)
	WebサイトURL	https://www.akihaku.jp/		秋田の歴史を学ぼう	小6～高	社会(我が国の歴史、身近な地域の歴史) 地理歴史(日本史)
	周辺の連携可能施設	・県立小泉湯公園	その他の主な学習プログラム	秋田の地層と化石を調べよう	小6～高	理科(大地のつくりと変化・火山と地震、地層の重なり)
	利用料金	無料(特別展の観覧も無料)		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸職員によるテーマ解説(秋田の林業・伝統工芸、昔の道具ほか) ・学芸職員による先人解説(勝平得之、多田等観、白瀬轟ほか) ・調べ学習(学習シート・ミッションあり) ・体験学習(石臼の体験ほか) ・資料貸出(火起こしセット・弓矢セット、ワラ細工ほか) ・出前授業(秋田の歴史・自然、昔の道具ほか) ・職場体験・インターンシップ(資料整理、資料クリーニング、わくわくたんけん室活動補助ほか) ・施設見学(学芸員の仕事ほか) 	
	窓口担当	学習振興チーム セカンドスクール担当	<ul style="list-style-type: none"> 〈休館日〉 ・毎週月曜日(休日と重なった場合は次の平日) ・全館くん蒸期間 ・年末年始 			
12	施設名	秋田県立農業科学館	主な学習プログラムと教科等との関係	果樹の観察・収穫	幼・保	収穫体験
	所在地	〒014-0073 大仙市内小友字中沢171-4		ウォークラリー	小1以上	生活・総合
	電話/FAX	0187-68-2300/0187-68-2351		昔の稲作(昭和30～40年代)	小5以上	社会・総合(わたしたちの食生活と米)
	WebサイトURL	https://www.obako.or.jp/sun-agrin/		新しい農業の姿	小5以上	社会・総合(わたしたちの食生活と米)
	周辺の連携可能施設	・県立大曲農業高等学校 ・県埋蔵文化財センター	その他の主な学習プログラム	あきたこまちへの道	小5以上	社会・総合(わたしたちの食生活と米)
	利用料金	無料(プログラムによっては、材料費を負担していただく場合があります)		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察 ・熱帯の植物 ・昔の農家のくらし(曲家見学) ・昔の道具(生活用品) ・押し花でしおり作り ・木の実で工作 	
	窓口担当	学芸チーム	<ul style="list-style-type: none"> 〈事前問合せ〉 ・天候その他の理由により、内容変更の場合あり 〈休館日〉 ・毎週月曜日(休日に当たる場合はその翌日)、年末年始 〈ICT対応〉 ・タブレット持込による館内撮影に制限なし ・館内及び敷地内のWi-Fi利用可能 			

企画展・特別展もご覧いただけます！（博物館）

秋田県立博物館では、学校団体利用の際に常設展はもちろんのこと、企画展や特別展も無料でご覧いただくことができます。秋田の自然や文化など、様々なテーマを取り上げて紹介しておりますので、地域のことをより深く知る絶好のチャンス！博物館をまるごとふるさと教育にお役立ていただけます。

どの展示も期間限定のため、この機会に是非ご利用ください。もしかしたら、新たな「推し」が見つかるかも……？



農業科学館で、新プログラム「ウォークラリー」がスタート！（農業科学館）

令和6年度から、期間限定イベントで実施していた「ウォークラリー」が新たに通年のプログラムとして登場！

樹木園やバラ園、国の登録有形文化財である築120年の古民家・旧伊藤家のほか、熱帯温室や展示室を巡ります。グループで協力してチェックポイントのクイズに挑戦、自然観察しながら昔の道具やくらしについて体験的に学ぶことができます。

No.	施設情報		利用情報			
			学習プログラム名	学年	教科等との関係	
13	施設名	秋田県 埋蔵文化財センター	主な学習 プログラムと 教科等 との関係	出土品を通して古代史や 地域の歴史を学ぶ	小学生 以上	社会(日本の歴史)
				縄文文様施文体験	小学生 以上	社会(日本の歴史)
				特別展示室見学	小学生 以上	社会(日本の歴史)
				整理室・収蔵庫見学	小学生 以上	社会(日本の歴史)
			その他の 主な学習 プログラム	出前授業(持参した出土品 から学ぶ、各時代の歴史・ 文化財学習)	小学生 以上	社会(日本の歴史)
	WebサイトURL	https://common3.pref.akita.lg.jp/maibun/		周辺の 連携可能施設	・大田市払田柵跡総合案内所 ・県立農業科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・払田柵跡見学 ・資料貸出(貸出キットや土器、石器など) ・学校での出土品展示(あきた埋文出張展示) ・縄文原体づくり ・縄文コースターづくり ・土器の復元体験 ・考古学者になろう(キャリア教育) ・職場体験、インターンシップ ・発掘現場見学、発掘体験 ・土器の拓本体験 ・石器づくり体験 ・勾玉づくり
	利用料金	原則無料。ただし、勾玉づくりは材料を購入 していただきます。				
	窓口担当	資料管理活用チーム				



気分は考古学者！（埋蔵文化財センター）

本物の土器や石器に直接触れる、またとない機会を提供します。出土品を観察し、縄文時代や弥生時代、古代の人々がどのような暮らしをしていたのかを考えます。センター職員が出土品の観察方法やその特徴等を分かりやすく解説しますので、授業後には「将来、秋田の歴史を解明する考古学者になりたい」という児童・生徒が現れるかも。出前授業でも対応できます。

各施設の最新情報をチェック！SNSもご覧ください！（その2）



図書館Facebook



美術館 X (旧Twitter)



近代美術館 X (旧Twitter)



博物館Facebook



農業科学館Instagram



埋蔵文化財センターFacebook

協力施設 産業に関する施設(10施設) No.14～23

No.	施設情報		利用情報	
14	施設名	秋田大学大学院国際資源学研究所附属 鉱業博物館	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・展示見学 ・デジタルコンテンツ
	所在地	〒010-8502 秋田市手形字大沢28-2		
	電話/FAX	018-889-2461/018-889-2465		
	Webサイト URL	https://www.mus.akita-u.ac.jp/		
	周辺の連携可能施設	・秋田大学	利用料金	・無料
窓口担当	博物館担当	その他	〈休館日〉 ・年末年始(12月26日～1月5日) ・12月～2月の日曜日・祝日	
15	施設名	秋田県 総合食品研究センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・概要説明 ・施設見学
	所在地	〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄4-26		
	電話/FAX	018-888-2000/018-888-2008		
	Webサイト URL	http://www.arif.pref.akita.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝日・年末年始 〈見学対応時間〉 ・平日10:00～15:00
窓口担当	企画管理室 施設見学担当			
16	施設名	秋田県立大学 木材高度加工研究所	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・研究概要説明
	所在地	〒016-0876 能代市海詠坂11-1		
	電話/FAX	0185-52-6900/0185-52-6924		
	Webサイト URL	http://www.iwt.akita-pu.ac.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	〈見学は事前予約が必要〉 ・2ヶ月前までに申し込み 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始
窓口担当	総務・管理チーム チームリーダー			
17	施設名	秋田県水産振興センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の管理や栽培漁業に関する学習 ・マダイやヒラメ等の親魚の飼育見学 ・マダイ、ヒラメ、トラフグ等の稚魚の育成見学 (おおむね5～10月) ・研究内容の紹介
	所在地	〒010-0531 男鹿市船川港台島字鶴ノ崎8-4		
	電話/FAX	0185-27-3003/0185-27-3004		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/ggenre/akisuisi/		
	周辺の連携可能施設		利用料金	・無料
窓口担当	総務企画チーム	その他	〈申込み〉 水産振興センターホームページの 「見学の申し込み」を確認ください。 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始	
18	施設名	秋田県農業試験場	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・概要説明 ・施設見学
	所在地	〒010-1231 秋田市雄和相川字源八沢34-1		
	電話/FAX	018-881-3312/018-881-3939		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/agri-ex/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	〈利用時は事前予約が必要〉 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝祭日
窓口担当	企画チーム			

No.	施設情報		利用情報	
19	施設名	秋田県畜産試験場	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産試験場の概要説明 ・畜産に関する説明 ・肉用牛、乳用牛の牛舎見学 ・乳用牛へのエサやり体験
	所在地	〒019-1701 大仙市神宮寺宇海草沼谷地13-3		
	電話/FAX	0187-72-2511/0187-72-4371		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/13876	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日
窓口担当	総務企画室 総務企画チーム 企画担当			
20	施設名	秋田県果樹試験場	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・試験圃場見学 ・「くだものづくり」体験 ・果実の試食(季節による) ・新品種ができるまで
	所在地	〒013-0102 横手市平鹿町醍醐字街道下65		
	電話/FAX	0182-25-4224/0182-25-3060		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/kaju/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈利用不可〉 ・冬期間
窓口担当	総務企画チーム			
21	施設名	鹿角地域振興局農林部 農業振興普及課果樹産地支援チーム かづの果樹センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・試験研究圃場施設見学 ・作業体験
	所在地	〒018-5201 鹿角市花輪字小坂野3-12		
	電話/FAX	0186-25-3231/0186-25-3232		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/kaju/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の水道水は飲用として使用することができません。
窓口担当	チームリーダー			
22	施設名	秋田県果樹試験場 天王分場	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容の説明 ・ナシ、ブドウの栽培圃場見学
	所在地	〒010-0201 湯上市天王字鶴沼台43		
	電話/FAX	018-878-2251/018-878-7446		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/kaju/	その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝祭日 〈利用不可〉 ・11月～5月
	周辺の連携可能施設			
窓口担当	チームリーダー			
23	施設名	秋田県森林学習交流館 (プラザクリプトン)	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察 ・クラフト(リース・木の実のクラフト) ・ネイチャーゲーム ・体の不自由な方への観察アシスト ・講義(山菜・きのこ・イワナ) ・県民参加の森づくり ・しいたけ植菌体験 ・森のクイズ ・山野草名前の言われ ・クマ等の生態と被害防止対策(P.P) ・クリプトンの森の野鳥(P.P) ・自然と共生 マタギ文化に学ぶ(P.P)
	所在地	〒019-2611 秋田市河辺戸島字上祭沢38-4		
	電話/FAX	018-882-5009/018-882-4821		
	Webサイト URL	http://www.plaza-crypton.jp	利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 ・利用料が必要な施設もあり
	周辺の連携可能施設	・秋田県林業研究研修センター		
窓口担当	インストラクター 山上 浪子	その他	〈団体見学は要予約〉	

協力施設 運輸・エネルギーに関する施設(4施設) No.24～27

No.	施設情報		利用情報	
24	施設名	東北電力株式会社 能代火力発電所 能代エナジウムパーク	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・エナジウムパーク見学 ≪約30分≫ ・能代火力発電所見学 ≪各約30分≫ (1)構内 (2)タービンフロア・屋上 ※1ヶ月前までの事前予約が必要となります。
	所在地	〒016-0807 能代市大森山1-6		
	電話/FAX	0185-52-2955/0185-52-2956		
	Webサイト URL	https://www.tohoku-epco.co.jp/pr/akita/noshiro.html		
	周辺の連携可能施設		利用料金	・無料
窓口担当	副館長	その他	〈案内付き見学は要予約〉 〈休館日〉 ・月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始	
25	施設名	国土交通省東北地方整備局 玉川ダム管理所	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム堤体(監査廊含む)の見学 ・玉川酸性中和処理施設の見学 ※令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、ダム管理施設(監査廊、玉川酸性中和処理施設)の見学案内を見合わせ、資料室及びダム堤体(天端)を案内する見学コースとしています。 令和6年度については、監査廊及び玉川酸性中和処理施設の見学を可能とするか否か未確定のため、事前の問合せをお願いします。
	所在地	〒014-1205 仙北市田沢湖玉川字下水無92		
	電話/FAX	0187-49-2170/0187-49-2166		
	Webサイト URL	https://www.thr.mlit.go.jp/tamagawa/		
	周辺の連携可能施設		利用料金	・無料
窓口担当	総務係長	その他	〈冬期休止〉12月～4月中旬	
26	施設名	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 能代ロケット実験場	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備見学 ※内容・所要時間については、事前にご相談ください。 ※見学は、実験場職員の同行による説明を行うため、事前予約が必要です。
	所在地	〒016-0179 能代市浅内字下西山1		
	電話/FAX	0185-52-7123/0185-54-3189		
	Webサイト URL	http://www.jaxa.jp		
	周辺の連携可能施設	・能代市子ども館 (科学館で、主に宇宙関係の展示となっている。プラネタリウムあり)	利用料金	・無料
窓口担当	(学校対応担当) 広報関係の担当 鈴木 徹	その他	〈施設見学対応時間〉 ・午前9時30分から午後5時 (要事前連絡、一般的な見学所要時間は1時間) 〈休館日〉 ・土曜日・日曜日・祝日・年末年始	
27	施設名	秋田空港管理事務所	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・空港概要説明
	所在地	〒010-1211 秋田市雄和椿川字山籠49		
	電話/FAX	018-886-3362/018-886-3365		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/14469		
	周辺の連携可能施設		利用料金	・無料 (大型バスの駐車は見学時間内無料)
窓口担当	総務チーム 見学担当	その他	・ターミナルビル内の見学は、秋田空港ターミナルビル株式会社にお問合せください。	

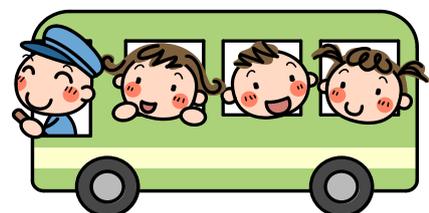
協力施設 暮らし・安全安心に関する施設(6施設) No.28~33

No.	施設情報		利用情報	
28	施設名	さきがけ印刷センター (秋田魁新報社)	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・基本コース (印刷センター見学) ・新聞教室セットコース (印刷センター見学+新聞教室) ※詳細はウェブサイト「NIE@さきがけ」で公開中
	所在地	〒010-1419 秋田市御所野堤台一丁目2-1 (さきがけ印刷センター)		
	電話/FAX	「その他」を参照		
	Webサイト URL	秋田魁新報社ホームページ https://www.sakigake.jp 「NIE@さきがけ」 https://www.sakigake.jp/p/nie/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		窓口担当	読者局 NIE・読者交流部
29	施設名	気象庁 秋田地方气象台	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・災害から身を守る知識の習得 ・業務内容説明 ・施設見学
	所在地	〒010-0951 秋田市山王七丁目1-4		
	電話/FAX	018-824-0376/018-824-5938	利用料金	・無料
	Webサイト URL	https://www.data.jma.go.jp/akita/index.html	その他	・見学人数 20名程度
	周辺の連携可能施設			
窓口担当	次長			
30	施設名	あきた就職活動支援センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・ハビキャリアキットの活用(中学生向き) ・書籍、DVDの閲覧(中学生・高校生利用可) ※一度の利用人数には制限があります。
	所在地	〒010-1413 秋田市御所野地蔵田三丁目1-1 秋田テルサ3F		
	電話/FAX	018-826-1735/018-826-1732		
	Webサイト URL	https://syukatsu-akita.jp/	利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・無料 ・センター内での実施可能人数は8名まで ・8名を超える場合は、秋田テルサ内の会議室を借用していただきます。(費用は利用者負担)
	周辺の連携可能施設		窓口担当	団体利用 担当者
31	施設名	秋田県防災学習館	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・地震体験(震度1~7) ・初期消火体験 ・防災シアター ・煙中体験
	所在地	〒018-1301 由利本荘市岩城内道川字築館1-1		
	電話/FAX	0184-73-3005/0184-73-2851 (県消防学校)		
	Webサイト URL	https://www.bousai-akita.jp/index.html (秋田県防災ポータルサイト)	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		窓口担当	秋田県防災学習館 または 秋田県消防学校総務チーム (電話 0184-73-2850)

No.	施設情報		利用情報	
32	施設名	秋田県警察本部	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・広報センター見学(要予約) ・通信指令室見学(要予約) ・交通管制センター見学(要予約) (内容はいずれも庁舎見学の案内対応)
	所在地	〒010-0951 秋田市山王四丁目1-5		
	電話/FAX	018-863-1111/018-864-8999		
	Webサイト URL	https://www.police.pref.akita.lg.jp/kenkei/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	〈対応日〉 ・土曜日・日曜日・祝日を除く平日のみ ※新型コロナウイルス感染症対策として、1回の見学を定員20名程度に制限しています。
窓口担当	広報広聴課 広報係			
33	施設名	海上保安庁 秋田海上保安部	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・海上保安庁の業務説明 ・業務体験(指紋採取、油防除、海難防止指導等) ・巡視船一般公開(要調整)
	所在地	〒011-0945 秋田市土崎港西1-7-35 秋田港湾合同庁舎3階		
	電話/FAX	018-845-1621/018-846-0094	利用料金	・無料
	WebサイトURL	https://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/akita	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事件や事故の発生、荒天の場合は、急遽の中止又は変更となる場合があります。 ・受入可能人数については、別途ご連絡いただき検討をします。 ・業務上、ご希望の日程に実施できない可能性がありますので、ご理解とご協力をお願いします。 ・庁舎敷地内に大型車両が駐車する区画はありません。また、提携している駐車場もありません。 ・職場体験の実施について報道機関に対し広く広報をしますので、事前に保護者の方に承諾を頂くようお願いいたします。 ・他の学校・団体と日程が重複した場合、合同で実施又は時間帯の変更調整がありますので、予めご了承ください。
	周辺の連携可能施設			
窓口担当	秋田海上保安部 管理課総務係			

協力施設 文化・自然・環境に関する施設(8施設) No.34~41

No.	施設情報		利用情報	
34	施設名	秋田ふるさと村	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・星空探検館スペースア (「月と星の動き」などのプラネタリウム学習) ・工芸展示館 (県内の伝統的工芸品、民芸品等に関する学習) ・手づくり体験 (漆工芸、七宝焼き、組子細工、曲げわっぱなどの手づくり体験) ・インターンシップ (職場訪問、職場体験による総合的な学習)
	所在地	〒013-0064 横手市赤坂字富ヶ沢62-46		
	電話/FAX	0182-33-8800/0182-33-8889	利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・有料施設入場料有料(教育料金適用) ・手づくり体験有料 ・工芸展示館等、一部無料の施設あり
	Webサイト URL	http://www.akitafurusatomura.co.jp		
	周辺の連携可能施設	<ul style="list-style-type: none"> ・県立近代美術館 ・横手市増田まんが美術館 ・かまくら館 	その他	〈休業日〉 ・全館メンテナンスのための休業期間あり 令和7年1月22日~31日(予定)
窓口担当	営業部 営業企画課 齊藤 千秋			



No.	施設情報		利用情報	
35	施設名	環境省 白神山地世界遺産センター 藤里館	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・白神山地の自然についての展示見学 ・館内での白神山地についての学習(無料) (自然アドバイザーが案内し、自然の不思議や大切さ、見所などを解説します。映像をみたり、ブナの実の観察や水の試飲・学習などができます) ・白神山地のブナ林散策 (秋田白神ガイド協会におつなぎします。ガイドは有料となります。事前学習などは、世界遺産センターで対応いたします。なお、遺産センターからアクセスできる「岳岱自然観察教育林」は2024、2025年は秋シーズンのみ入林可能です)
	所在地	〒018-3201 藤里町藤琴字里栗63		
	電話/FAX	0185-79-3005/0185-79-3005		
	Webサイト URL	http://shirakami-fujisatokan.jp		
	周辺の連携可能施設		利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・無料(世界遺産センター館内での学習、学校施設などへの出張授業、オンライン授業など) ・実際の森林へ入るプログラムは、有料の秋田白神ガイド協会が対応いたします。ガイド一人につき10名案内可能・岳岱自然観察教育林でガイド一人あたり20,000円です)
	窓口担当	自然アドバイザー	その他	解説が必要な場合は事前にご連絡ください。
36	施設名	秋田県 環境と文化のむら	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会 ・自然素材を利用したクラフトづくり ・研修室(約50名収容) 研修・会議・学習・サークル活動など利用可 ・バンガロー2棟あり ・キャンプ利用可能 ・愛鳥山荘(約20名収容) フリ-Wi-Fi利用可能 ・ワークショップ利用、会議、研修・学習など利用可
	所在地	〒018-1723 五城目町上樋口字山田沢156-1		
	電話/FAX	018-852-2202/018-852-5251		
	Webサイト URL	http://www.kankyoku-bunka.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設	・文化の館 ※同じ敷地内にある五城目町が運営する施設	その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈休館日〉 ・毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日) ・年末年始(12月29日～1月3日) 〈設備〉 ・スクリーン、プロジェクター有り ・会議室を利用した学習等も可
窓口担当	渡部 司			
37	施設名	米代川流域下水道 大館処理センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要説明 ・施設見学 ・顕微鏡による生物の観察
	所在地	〒017-0878 大館市川口字中川口1		
	電話/FAX	0186-42-8545/0186-42-8546		
	Webサイト URL	http://kkhs.plala.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設	・大館処理センター内 県北地区汚泥資源化事業 汚泥資源化施設 運営会社名:秋北エリツリマツメ(株) TEL:0186-59-6550	その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈見学時間〉 ・午前9時から午後4時まで 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝日・年末年始
窓口担当	(指定管理者) 県北環境保全センター 大館事業所 上村所長			
38	施設名	米代川流域下水道 鹿角処理センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要説明 ・施設見学 ・顕微鏡による生物の観察
	所在地	〒018-5336 鹿角市十和田錦木字赤沢田104		
	電話/FAX	0186-35-5444/0186-25-8727		
	Webサイト URL	http://kkhs.plala.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	<ul style="list-style-type: none"> 〈見学時間〉 ・午前9時から午後4時まで 〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝日・年末年始
窓口担当	(指定管理者) 県北環境保全センター 鹿角事業所 川口係長			

No.	施設情報		利用情報	
39	施設名	秋田湾・雄物川流域下水道 秋田臨海処理センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要説明 ・施設見学(屋外を除く) ・顕微鏡による生物の観察
	所在地	〒010-1601 秋田市向浜二丁目3-1		
	電話/FAX	018-824-4783/018-866-3057		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp (秋田県HP) http://www.t-kankyokanri.co.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	
	窓口担当	(指定管理者) 東北環境管理株式会社		
40 ・ 41	施設名	秋田湾・雄物川流域下水道 大曲処理センター 横手処理センター	主な 学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・業務概要説明 ・施設見学 ・顕微鏡による生物の観察 ・ビデオによる概要説明
	所在地	(大曲処理センター) 〒014-0001 大仙市花館字上大戸下川原74-36 (横手処理センター) 〒013-0826 横手市黒川字福柳350		
	電話/FAX	0187-63-8299/0187-73-7056		
	Webサイト URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/11331 http://www.kkhc.jp/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設	・大仙市玉川浄水場 ・大曲仙北広域中央ごみ処理センター	その他	〈休業日〉 ・土曜日・日曜日・祝日 〈注意事項〉 ・悪天候時は見学をお断りすることもあります。
	窓口担当	(指定管理者) (株)県南環境保全センター 見学担当 総務係長 柴田 悟		

協力施設 スポーツ・野外活動に関する施設(11施設) No.42～52

No.	施設情報		利用情報	
42	施設名	秋田県立 田沢湖スポーツセンター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー ・登山 ・キャンプファイアー ・ネイチャー探検隊 ・民話(語り部) ・ノルディックウォーキング ・踊り体験 (南中ソーラン、ストリートダンス) ・湖畔一周半周ウォーキング ・カヌー体験 ・釣りぼり体験 ・座禅体験 ・料理体験 ・きもだめし ・野外炊飯 ・BBQ 等
	所在地	〒014-1201 仙北市田沢湖生保内字下高野73-75		
	電話/FAX	0187-46-2001/0187-46-2003	利用料金	・1泊2日(夕朝食付き) 小学生¥5,330 中学生¥6,430 高校生¥6,860 大学生¥7,180 大人¥7,500 ※冬季は暖房費+ ¥500必要
	Webサイト URL	http://www.tazawako-sports.com/		
	周辺の連携可能施設	<ul style="list-style-type: none"> ・たざわ湖スキー場 ・田沢湖オートキャンプ場 ・仙北市農山村体験デザイン室 ・田沢湖キャンプ場 ・田沢湖クニマス未来館 ・思い出の潟分校 等 		
窓口担当	副支配人 民谷資郎 営業企画 田口 洸	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の学校研修は、人数によりますが、貸し切り対応が可能です。 ・冬季のスキーシーズンは、貸し切りはできませんので、ご了承ください。 	

No.	施設情報		利用情報	
43	施設名	秋田県 スポーツ科学センター	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・ボルダリングウォール体験(簡単な壁登り) ・健康教室体験 ・施設管理体験 ・質疑応答 等
	所在地	〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5		
	電話/FAX	018-864-7911/018-823-0008 (担当:スポーツ振興チーム 018-864-6225)		
	Webサイト URL	https://common3.pref.akita.lg.jp/aiss/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	〈休館日〉 ①毎週月曜日 (当該日が祝日に当たるときは、その翌日) ②年未年始 ※セカンドスクールの利用は平日のみ可 (①も可)
	窓口担当	スポーツ振興チーム セカンドスクール担当		
44	施設名	秋田県立体育館	主な学習プログラム	・体育、スポーツ等
	所在地	〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-12		
	電話/FAX	018-862-3782/018-862-5801		
	Webサイト URL	https://www.akisouko.com/ken_tai/	利用料金	・無料
	窓口担当	セカンドスクール担当	その他	
45	施設名	秋田県立総合プール	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳、水遊び ※水温は29℃での利用となります。 ※体調不良の方のご利用はご遠慮ください。
	所在地	〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄4-6		
	電話/FAX	018-895-5056/018-895-5055	利用料金	・平日午前のみ無料
	Webサイト URL	http://www.akisouko.com/pool/index.html	その他	〈休場日〉 ・原則として毎月第3月曜日 ・年未年始(12月29日～1月1日) ・特別点検期間(1月20日～2月3日の15日間)
	周辺の連携可能施設			
	窓口担当	向浜スポーツゾーン総合事務所 セカンドスクール担当		
46	施設名	秋田県立スケート場	主な学習プログラム	・スケート
	所在地	〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄2-2		
	電話/FAX	018-863-1241/018-863-1242		
	Webサイト URL	http://www.akisouko.com/skate/index.html	利用料金	・平日午前のみ無料(貸靴は有料)
	周辺の連携可能施設		その他	〈利用不可期間〉 ・4月～10月 〈休場日〉 ・原則として毎月第3月曜日
	窓口担当	向浜スポーツゾーン総合事務所 セカンドスクール担当		
47	施設名	秋田県立武道館	主な学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・職場体験、インターンシップ (道場整備、受付業務体験)
	所在地	〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄2-2		
	電話/FAX	018-862-6651/018-896-6433		
	Webサイト URL	http://www.akisouko.com/budokan/	利用料金	・無料
	周辺の連携可能施設		その他	〈メンテナンス日〉 ・原則として毎月第3月曜日 〈休館日〉 ・12月29日～1月3日
	窓口担当	武道館事務所 セカンドスクール担当 スタッフ 加藤功一		

No.	施設情報		利用情報	
48	施設名	ニプロハチ公ドーム	主な学習プログラム	・世界最大級の木造ドームの施工過程見学 ・スポーツ、レクリエーション活動
	所在地	〒017-0031 大館市上代野字稲荷台1-1		
	電話/FAX	0186-45-2500/0186-45-2220	利用料金	・無料 ※利用料が必要となる付属施設(照明等)があるため、必ずお問合せください。
	Webサイト URL	http://www.jukaidome.com		
	周辺の連携可能施設		その他	〈休館日〉 ・第2・第4月曜日(祝・祭日の場合は翌日) ・12月29日～1月3日(年末年始休館)
窓口担当	セカンドスクール担当			
49	施設名	秋田県立中央公園	主な学習プログラム	・各種スポーツ活動 ・キャンプ ・フィールドアスレチック
	所在地	〒010-1211 秋田市雄和椿川字駒坂台4-1		
	電話/FAX	018-886-3131/018-886-3686	利用料金	〈利用料減免〉 ・授業の一環と認められた場合は、使用料の一部が免除されます。
	Webサイト URL	http://www.akisouko.com/chuo/index.html		
	周辺の連携可能施設		その他	
窓口担当	総務企画課			
50	施設名	秋田県立北欧の杜公園	主な学習プログラム	・自然観察 ・キャンプ ・クロスカントリースキー ・サイクリング、各種スポーツ活動 ・クラフトづくり
	所在地	〒018-4231 北秋田市上杉字中山沢128		
	電話/FAX	0186-78-3300/0186-78-2452	利用料金	・利用料の減免あり
	Webサイト URL	http://hokuopark.wixsite.com/hokuonomori		
	周辺の連携可能施設		その他	〈休園日〉 ・年末年始(12月29日～1月3日)
窓口担当	総務マネージャー 西川 紀暁			
51	施設名	秋田県立小泉湯公園	主な学習プログラム	・水心苑見学 ・フィールドアスレチック ・菖蒲園見学 ・多目的広場 ・バーベキュー広場 ・噴水広場
	所在地	〒010-0124 秋田市金足嶋崎字後谷地21		
	電話/FAX	018-873-5272/018-873-7313	利用料金	
	Webサイト URL	http://www.koizumigatapark.jp/		
	周辺の連携可能施設	・県立博物館	その他	12月～3月は利用制限があります。 詳しくはお問合せください。
窓口担当	セカンドスクール担当			
52	施設名	奥森吉青少年野外活動基地	主な学習プログラム	・建築物見学(無料) ・自然素材クラフト体験(有料) ・ブナの森探索ガイド(有料) ・ブナの森自然体験、学習指導(有料) ・植樹体験及び指導 ・その他、自然体験を楽しむプログラム(有料) ・上記プログラムの組み合わせ ・教育事業時は無料 ※事前に相談いただければ上記以外も可能
	所在地	〒018-4511 北秋田市森吉字森吉山麓高原1		
	電話/FAX	〈使用施設〉090-7064-7867 ・午前9時～午後6時 ・午前9時～午後5時(9月23日～10月31日) 〈管理団体〉0186-72-3168 ・午後7時～9時	利用料金	上記プログラム参照
	Webサイト URL	https://ku-n.jp/		
	周辺の連携可能施設	・環境省野生鳥獣センター (連携及びメインでの利用可)	その他	〈事前申込み〉 ・建築物見学以外は事前申込み必要 〈利用時間〉 ・6月1日～9月22日 午前9時～午後6時 ・9月23日～10月31日 午前9時～午後5時
窓口担当	NPO法人 冒険の鍵クーン 村田 君子			

[巻末資料]

「少年自然の家等体験活動プログラム・展開例」

大館少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	森のレストラン
ねらい	草花や樹木などを食材に見立て、料理のように画用紙に並べる活動を通して、身近な自然を利用した遊びの面白さ、自然物の色や形などの多様さなどに気付くことができる。
内容	木の実や落ち葉、枝など、拾い集めた草花や樹木を画用紙の上に並べて、「料理」をつかって遊ぶ活動です。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> 小学校 生活 身近な人々、社会及び自然と関わる活動 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然や物を使った遊び 小学校 図画工作 A表現 など

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【木の実や葉っぱの組み合わせを楽しむ様子】



【自然物の色や形から発想を広げる子ども】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	○
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「森のレストラン」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の校庭で、身の回りにある自然を観察する。 ・ 公園で動植物を観察したり、公園に来ている人と関わったりする。 ・ 公園にある自然や物を使った遊びを考え、みんなで楽しく遊ぶ。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
大館 少年自然の家 での 学習 【100分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 きのみやはっぱでりょうりをつくって、たのしくあそぼう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな料理をつくりたいか思い描けるように、身の回りにある木の実や落ち葉について想起させる。
	2. 活動の見通しをもつ。【10分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動場所、活動の流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に活動できるように、活動の約束や危険な動植物などを伝える。
	3. 木の実や落ち葉を集める。【30分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の色や形の多様さなどに気付けるように、視点を示す。
	4. 集めた木の実や落ち葉を画用紙の上に並べ、料理をつくって遊ぶ。【30分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの面白さに気付けるように、自由な発想を大切に、それを引き出す声掛けをする。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<p>“問い”の例</p> <p>◎木の実はどこにあるのかな？ ・ 集めた材料で何をつくらうかな？ ・ どんな工夫ができるかな？</p> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> <p>今度はデザートをつくってみよう。</p> <p>更に工夫できることはないか問いかける。</p> <p>◎どんぐりはナラの近くにあるんだ。 ・ どんぐりをカレーライスにしよう。 ・ 赤い木の実は福神漬けにしてみよう。</p> <p>解決の姿</p> <p>他の木の実や葉っぱも探してみよう。</p> <p>どんぐりは、木の下にありそうぞ。</p> <p>適宜、草花や樹木について話をする。</p> <p>どんぐりの色に似ている料理は...</p>	
5. 活動のまとめをする。【20分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の特徴を作品作りに生かそうとする態度を褒め、意欲を高める。【学校職員】 	
6. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のねらいに沿ってまとめられるように、活動シートを準備する。 ・ 振り返りの視点を示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節（の変化）と自分たちの生活の関わりについて振り返る。 ・ 拾い集めた木の実や落ち葉などを使っておもちゃをつくる。 ・ つくったおもちゃで、友達や園児と遊ぶ。
--------------------------	--

プログラム名	<h1>グリーンウォッチング</h1>
ねらい	自然の家周辺に自生する樹木を観察し、それぞれの樹木の特徴について仲間と話し合う活動を通して、身近にある自然環境の豊かさを実感したり、樹木についての興味を高めたり、生物を愛護する態度を養う。
内容	グループごとにコース上に設定されたチェックポイントにある樹木を観察し、ヒントを基にその樹木の名前を当てる野外活動です。（活動時間は2時間としていますが、1時間程度で実施可能なミニコースも選択できます。）

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 理科 第4学年 B生命・地球(2) 季節と生物 ・ 小学校 社会 第5学年 (5) 我が国の国土の自然環境と国民の生活との関連 ・ 小学校 国語 第3～6学年 B書くこと 	など
---	----

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【チェックポイントにある樹木を観察する様子】



【樹木の特徴から、樹木名を予想する子どもたち】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「グリーンウォッチング」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物について、探したり育てたりする。 森林の分布について調べたり、森林の働きについて考えたりする。 新聞やリーフレット、詩、俳句に触れたり、言葉集めをしたりする。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
大館 少年自然の家 での 学習 【120分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 樹木を観察して自然に親しもう。	<ul style="list-style-type: none"> 樹木に触れた経験を聞き、身近にある樹木への関心を高める。
	2. 活動の見通しをもつ。【15分】 <ul style="list-style-type: none"> 活動の流れや観察するポイント、危険箇所を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明用の図や写真を掲示する。 グループで話し合ったり、作戦を考えたりする時間を設ける。
	3. グループごとにコースを回り、樹木を観察する。【85分】 <ul style="list-style-type: none"> 活動シート(ヒント)を基に、樹木の特徴を調べる。 樹木の名称を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> 先に出発して安全確認をする。最後の班の後方にも職員が付く。 葉や幹の特徴の他に、視覚以外の特徴についても気付けるように助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
4. 活動のまとめをする。【10分】 <ul style="list-style-type: none"> 樹木の特徴を情報交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の特徴を捉えた児童生徒の発言を拾い上げ、全体に広げる。【学校職員】 	
5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> 解答シートを見比べたり、樹木の特徴を話したりする時間を設ける。 振り返りの視点を示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長や季節による変化を調べたり、観察したりする。 森林資源の果たす役割や自然環境について考え、議論する。 調べたことや体験したことを新聞やリーフレット、詩、俳句などで表す。
--------------------------	---

プログラム名	<h1>化石掘り</h1>
ねらい	大地の下がどのようなになっているのか予想し、大地のつくりについて問題を見いだしたり、化石を採取したりすることを通して、昔のその場所の様子を考えることができる。
内容	ハンマーとタガネを使って実際に化石を採取したり、地層に含まれている構成物を採取したりします。（化石掘りは出前での実施も可能です。）

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 理科 第6学年 B生命・地球 (4)土地のつくりと変化 ・ 中学校 理科 第1学年 第2分野 (2)大地の成り立ちと変化 	など
---	----

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【用具を使って化石を採取している様子】



【化石について先生と考察を深める子ども】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	○
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「化石掘り」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生理科の土地のつくりと変化の授業を進め、地層について調べる。 ・ 体験を今後の学習に生かすために、ワークシート等に化石掘りのめあてや調べたいことを記入する。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
保呂羽山 少年自然の家 での 学習 【90分】	1. 活動のめあて等を確認する。【10分】 化石を見つけて大地のひみつを探ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、活動の流れを確認する。 ・ 安全に関する注意点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での事前学習を想起させ、めあてや活動のポイントを確認する。 ・ ハンマーとたがね、防護めがねの使い方を指導する。
	2. 場所を移動し、化石に関する話を聞いたり、化石掘りをしたりする。【70分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動に往復20分の徒歩移動が含まれることを考慮しておく。 ・ どのような岩に化石があり、その化石からここは昔どのような場所だったのかなど、考えながら活動するよう助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	3. 活動のまとめをする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化石をなかなか見付けられない児童生徒に適宜支援をする。【学校職員】 ・ どのような場所で、どのように化石ができるのか、考えを整理する。
	4. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りのポイントを示す。

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採取した化石を保護するためにコーティングを行う。 ・ 採取した化石を教材として、理科の授業を展開する。
--------------------------	--

プログラム名	自然素材工作
ねらい	どんぐりや松ぼっくりなどの数多くの自然素材の感触を確かめたり、自分で拾い集めた自然物を含めた素材を自由に組み合わせて工作したりする活動を通して、想像力や直感力を発揮した独創的な作品づくりをすることができる。
内容	素材を手にした感触を楽しみながら、土台となるアケビのつるのリースや丸い板に、グルーガンを使って様々な自然物を接着して作品を仕上げます。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> 小学校 生活 身近な人々、社会及び自然と関わる活動 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然や物を使った遊び 小学校 図画工作 A表現 	など
---	----

※学校の実態に応じて、特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【みんなで自然物を集めている様子】



【作品を見せ合いイメージを膨らませる子どもたち】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「自然素材工作」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な素材を自由に組み合わせて、自分なりの作品を作る機会を設ける。 ・ 学校や家庭で、身の回りにある秋の自然物を集める。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
	1. 活動のめあてを確認する。【3分】 秋のそざいでへやかざりを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな素材に触れさせ、工作へのイメージを膨らませる。
	2. 作り方の説明をする。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の留意点を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作の手順や気をつけること(特にやけどへの注意喚起)と時間の目安を設定し、ゴールの見通しをもたせる。
	3. 自然物を組み合わせて工作活動をする。【62分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で集めた素材を工夫して使うことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物がどのような場所で拾えるか、その特徴は何かなど、素材に関する質問に答えられるよう事前に関係者間で情報を共有する。 ・ 素材の組み合わせやその接着について適宜支援をする。【学校職員】
保呂羽山 少年自然の家 での 学習 【80分】	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> “問い”の例 ◎昆虫を作るにはどうすればいいかな？ ・ このエビフライみたいな材料は、どうやってできたのかな？ ◎どうして松ぼっくりはうまく立たないのかな？ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 昆虫図鑑を見てこよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 他の素材も見てみよう。 </div> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 松ぼっくりの下って丸くなってる！ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 発言：児童生徒 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 自分なりに工夫しているところを見つけてあげる。 </div> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 工作のヒントを示唆したり、友だちから工夫点を見つけるようアドバイスする。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎図鑑を見ると虫は体が3つになってるから3個組み合わせてみよう。 ・ 「森のエビフライ図鑑」にリスが載っている。リスの食事の食べ残しなんだ！ ◎土台に筒みたいのを敷いてみよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ○○君のやり方工夫してすごい！ </div> </div>	
	4. 活動のまとめをする。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道具、素材の後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の特徴を生かした作品づくりをしている児童を褒め、意欲を高める。【学校職員】
	5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が作品を作るにあたり、工夫したことをまとめる。 ・ 振り返りのポイントを示す。

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の作品を鑑賞して互いの工夫したところや気に入ったところを話したり、季節の変化を自分の生活の中に取り入れて楽しむ計画を立てたりする。 ・ 自然物を使った遊び道具を作り、保育園等に出向いて遊ぶ活動に発展させる。
--------------------------	--

プログラム名	<h1>植物ネイチャービンゴ</h1>
ねらい	写真と照合しながら野草の観察をしたり、特徴を示すヒントから野草を特定したりすることを通して、野草の種類や生育の様子について関心を高めたり、自然を愛護したりする態度を養う。
内容	季節の野草（樹木）についての写真や特徴が示されたシートを活用し、植物を探しながら野山を探索します。また、見つける楽しさをより感じてもらえるように、シートをビンゴ形式にしています。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 理科 第3学年 B 生命・地球(1)身の回りの生物 ・ 小学校 理科 第4学年 B 生命・地球(2)季節と生物 ・ 小学校 理科 第5学年 B 生命・地球(1)植物の発芽、成長、結実 ・ 小学校 理科 第6学年 B 生命・地球(2)植物の養分と水の通り道 ・ 中学校 理科 第1学年 第2分野 (1)いろいろな生物とその共通点 など
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【友達と相談しながら野草を探索する様子】



【植物ネイチャービンゴシート】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	“「問い」を発する子ども”の具体的な姿
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養 ○	主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」 ○

◆ プログラムの展開例 「植物ネイチャービンゴ」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外を散策する際、服装や持ち物等の約束及び気を付けることを確認する。 ・ 身の回りの野草や樹木を観察する。 ・ 季節によって植物の様子に違いがあることを観察する。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
岩城 少年自然の家 での 学習 【80分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 山中で季節の植物を見つけ出そう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸条件から、当植物は時期限定のことを伝え、探索の意欲を高める。
	2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ シートの記入方法等を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かぶれる植物について知らせる。 ・ 活動範囲を示す地図を配付し、探索の見通しがもてるようにする。
	3. グループごとに自然散策コース上で、シートにある植物を探し、特定する。【60分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動範囲を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校職員と連携し、活動の際の安全確保に努める。 ・ 活動状況に応じて、植物を見付けるコツや見分け方のポイント等を適宜助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>“問い”の例</p> <p>見た感じはそっくりだけど、どこか違う感じの植物があるよ。</p> <p>さわった感じやにおいが特徴的なものがあるよ。</p> </div> <div style="width: 40%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎植物のある場所には理由があるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 似ている花はどうやって見分けるの？ ・ 見付けにくい植物は、目立たないところにあったり、小さかったりするのだろうか？ </div> <div style="width: 25%;"> <p>これは間違いなくこの植物だと思う！</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見分け方のポイントとして、花だけでなく、葉の形やつき方にも目を向けることができるようにする。</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地図に生育場所の様子も書き込むよう促す。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>◎水辺や木陰など、植物それぞれに生育場所が違っていたね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見た目以外にも手がかりがあるんだね。 ・ 花だけでなく、葉や茎など他の部分も植物を特定する役に立つね。 </div> <div style="width: 40%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>同じ植物は似たような所に咲いているね。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>解決の姿</p> </div>	
4. 活動のまとめ、報告をする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの植物の特徴を捉え、観察している姿勢を褒め、興味・関心を高める。【学校職員】 	
5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想に対して、見付けた場所の様子を考えることができるようにする。 ・ 身の回りの植物への関心を高める。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書に載っている植物を身の回りでも観察してみる。 ・ 図鑑や情報端末を活用し、植物の生育地や構造についての理解を深める。 ・ 季節の七草や他教科等にも関連付ける。
--------------------------	--

プログラム名	<h1>防災スキル</h1>
ねらい	防災に役立つ講座・演習を通して防災意識を高め、必要に応じて自助・共助ができるようにするための考え方やスキルを身に付け、主体的に問題を解決しようとする態度を養う。
内容	防災簡易炊飯（袋・アルミ缶）を行ったり、簡易パーティション・油や電灯を用いたランタン・防寒グッズなどの製作をしたりします。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 社会 第4学年(3) 自然災害から人々を守る活動 ・ 小学校 社会 第5学年(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連 ・ 中学校 地理 C 日本の様々な地域(2) 日本の地域的特色と地域区分 など
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【段ボールによるパーティション作成の様子】



【ナイロン袋を使った防災簡易炊飯の様子】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「防災スキル」(避難所生活設定)

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭にある防災マップや防災用具について、家族と確認し合う。 今まで自分が見聞きした災害はどのようなものがあったかを想起する。 各自が知っている防災スキルや防災知識について紹介し合う。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
岩城 少年自然の家 での 学習 【100分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 災害時に自分や家族を守ろう！	<ul style="list-style-type: none"> 自他の命を守るための活動だということを強く認識できるようにする。
	2. 災害や場面の設定を理解する。【5分】 ・ おおまかな活動の流れを把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 大きな災害時の設定であることを伝え、目的意識を高める。
	3. 災害のケースや災害時に必要な対策を考え、必要なスキルを学ぶ【60分】 ・ 今回の災害ケース以外にも、想定される場面を思い浮かべ、考えを交流し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所での集団生活を想定し、役割分担を促す。 水道や電気が無いなどのライフラインの条件に伴い、様々なスキルや行動が必要であると気付くことができるようにする。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
4. 活動のまとめをする。【25分】 ・ 「タイムライン」の手法でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に問題解決に取り組んでいる様子を褒め、防災に対する意欲を高める。【学校職員】 	
5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の気づきを認める。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 国や地方公共団体が災害に対して、どんな対策や事業をしているかを調べる。 実生活においてどんなケースにどんな防災スキルを活用できるか考える。 避難訓練の際に、関連付けられる考え方や行動、スキル等について話し合う。
--------------------------	---

プログラム名	<h1>ピザづくり</h1>
ねらい	ピザの調理を通して、包丁の扱いに慣れ、熱の通りをよくしたり食べやすくしたりするなどの目的に合わせて、材料を適切に切ることができる。
内容	白神こだま酵母を使用した発酵種でピザを作ります。生地をのばしたり具材を包丁で切ったりする体験があります。自分たちで作ったピザを焼き上げた後は、みんなで楽しく会食します。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 家庭 B衣食住の生活(2) 調理の基礎 ・ 中学校 技術・家庭 家庭分野 B衣食住の生活(3) 日常食の調理と地域の食文化 	など
--	----

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【彩りを考えて思い思いにトッピングする様子】



【アドバイスし合って、交代で食材を切る様子】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	○
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「ピザづくり」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験活動「ピザづくり」の食材について、栄養的な特徴を調べる。 ・ 食器や包丁等の用具の安全で衛生的な取扱いについて知り、扱いに慣れる。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
あきた白神 体験センター での 学習 【110分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 具の大きさを整えて切り、おいしいピザを焼こう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包丁の安全な扱い方とピザづくりの調理手順を掲示しておく。 ・ 具材に十分熱を通すこと、食べやすくすることの2点を視点として示す。
	2. 活動の見通しをもつ。【15分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料と作り方を確かめる。 ・ 包丁の安全な使い方を確認する。 ・ 切り方について意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上りのイメージをもつことができるように、班内のペアで具材の切り方を相談する時間をつくる。
	3. 具材を適した大きさに切る。【20分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ タマネギ、ピーマン、ミニトマト、ベーコンを包丁で切る。 ・ グループやペアで教え合って切る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包丁で切る役、見て助言する役、この二役を繰り返して担う中で、気付いたことを交流したり試したりできるよう助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> “問い”の例 <ul style="list-style-type: none"> ◎火を通りやすくするために薄く切ってみるのはどうかな？ ・ 転がるミニトマトを安全に切るには？ </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>いい考えだね。小さく切る方法もあると思うよ。</p> <p>トマトのヘタを取った凹みを下にするといいよ。</p> <p>平らな面を下にすると安定することを教える。</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>食べやすさや見た目も考えて切ろう。</p> <p>食感や彩りのバランスも切り方によって変化することを伝える。</p> <p>タマネギも切り進めた後半に倒すと安全に切れるよ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎薄く小さく切れたぞ。これで早く熱が入りそうだ。 ・安全に包丁で切ることができた。 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 解決の姿 </div>	
4. 生地をのばして具材をのせる。【20分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全や衛生に注意して調理している様子を褒め、意欲を高める。【学校職員】 	
5. ピザをホットプレートで焼く。【20分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けや食器の準備をする。 	
6. 会食して活動を振り返る。【30分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りのポイントを示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食材の切り方の他に、包丁の運び方、渡し方、置き方、洗い方など多様な観点から包丁の扱いについて調べる。 ・ 地域の具材を使って、オリジナルのピザを作ってみる。
--------------------------	---

プログラム名	<h1>小枝のボールペン</h1>
ねらい	材料の枝選びから始める小枝ペンの創作を通して、感じたことや見たことから発想や構想をし、形や装飾を工夫して作ることができる。
内容	小枝の形や色、持ったときの重さや感触を味わいながら材料を選びます。小刀やホットペン等の用具を用いて削ったり装飾したりしながら、手製の小枝ペンをつくります。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 図画工作 第3～6学年 A表現 ・ 中学校 美術 第1～3学年 A表現 	など
--	----

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【小刀でペンの形に削る様子】



【ドリルの使い方について教え合う子どもたち】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「小枝のボールペン」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小枝のボールペンの見本を見て、イメージを広げたり材料を集めたりする。 ・ 簡単な小刀類や小刀の使い方を知り、鉛筆を削るなどして、扱い方に慣れる。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
あきた白神 体験センター での 学習 【90分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 お気に入りの小枝を選んでオリジナルペンをつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いに合う材料を見付けられるように、樹種や形、太さの違う小枝を十分に用意する。
	2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工程を確かめる。 ・ 用具の種類と使い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具を安全に使用できるように、正しい使い方を実際に見せて説明する。
	3. 小枝のボールペンをつくる。【70分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小枝を選ぶ。 ・ 小枝にドリルで穴を開ける。 ・ 小刀で形を削り出す。 ・ ホットペンやカラーペンで装飾する。 ・ ペン芯を差して仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イメージに合った材料をじっくり選べる時間を確保する。 ・ 活動の場を対面型で設定し、児童生徒の交流が生まれるようにする。 ・ よりよい作品にするために気付いたことを積極的に伝え合うよう助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>“問い”の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲がった枝が気に入ったけどペンにできるかな？ ◎トレッキングで感じた森の様子を小枝ペンに表したい。 ホットペンで何を描こうかな？ </div> <div style="width: 30%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 持つと手に馴染みそう。ヘビの形に見えてかっこいい。 </div> <div style="width: 30%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ペン先はヘビの頭の形に削ってみよう。顔も描くぞ。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 森の散策体験で印象深かったことを想起させる。 </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 発言：児童生徒 </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 支援：指導者 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 日光で輝くブナの葉がきれいだったな。 </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・ 選んだ枝がますます気に入った。 この形を生かしてデザインするぞ。 ◎ブナの葉をモチーフにしてホットペンでたくさん描いてみよう。 </div> <div style="width: 30%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 葉の模様はカラーペンで緑色にしたいな。 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 解決の姿 </div>	
4. 後片付けをする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素材のよさを生かした作品作りをしている児童生徒を褒め、意欲を高める。【学校職員】 	
5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの観点を示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に題名を付け、展示する。 ・ 鑑賞会をひらき、発想や表し方、材料の生かし方などについて、よさや面白さを見つけながら楽しく見る。
--------------------------	--



令和6年度版 セカンドスクールの利用の手引き

令和6年4月

発行 秋田県教育委員会

編集 秋田県教育庁生涯学習課

〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1

TEL 018-860-5183/FAX 018-860-5816

URL <https://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>